

神戸の記憶を受け継ぐモダン建築が、一斉に扉を開く

## 「神戸モダン建築祭」参加建築《第一弾》発表 & パスポート販売開始

公式 WEB サイトオープン

神戸モダン建築祭実行委員会（神戸市長田区 実行委員長：松原永季）は、神戸に現存するモダン建築を一斉公開するイベント「神戸モダン建築祭」を、2023年11月24日(金)～11月26日(日)に開催します。初めての開催となる今年は、神戸市中央区を中心に、約30件のモダン建築が参加。日本の近代化を象徴する神戸の街の、年に一度の風物詩として、建築とその記憶を未来へと繋いでいくことを目指しています。

本日より、神戸モダン建築祭の公式 WEB サイトをオープンし、参加建築第一弾の発表とパスポート販売を開始するのでお知らせいたします。

また、回復しつつあるインバウンド需要にも対応し、外国人向けのガイドツアーやシンポジウム、専用サイトの開設も予定しています。



### 神戸モダン建築祭 公式 WEB サイトの公開

神戸モダン建築祭の公式 WEB サイトを公開します。参加建築の検索機能、地図による建築の場所の表示、オーディオガイド、FAQなどを盛り込み、建築祭を存分に楽しんでいただくための機能を充実させました。

1.神戸モダン建築祭 公式 WEB サイト：<https://www.kobe-kenchikusai.jp/>

2.公開日時：2023年9月14日(木) 14時

3.公式サイトの主な特徴：

- ①参加建築（パスポート公開、ガイドツアー、連携企画）の検索機能
- ②Google マップとのリンクによる建築の場所の表示
- ③パスポート公開建築のオーディオガイド機能（11月公開予定）
- ④FAQ（よくあるご質問）



<お問い合わせ先>

神戸モダン建築祭実行委員会事務局 MAIL: info@kobe-kenchikusai.jp

## 第一弾参加建築の発表（順次追加予定）

第一弾の参加建築として、パスポート公開建築の 12 件を発表します。今後も順次追加し、今年は約 30 件の参加建築を予定しています。（※神戸ハリストス正教会は事前予約制）

※参加建築：パスポート公開・ガイドツアー・特別イベント・連携企画の 4 つの категорияで参加する建築の総称です。

プログラム掲載ページ <https://www.kobe-kenchikusai.jp/program/>



### 参加建築名（五十音順・写真左上から順に）：

神戸港新港第 4 突堤 Q2 上屋、神戸税関、神戸バプテスト教会、神戸ハリストス正教会（生神女就寝聖堂）、  
こども本の森 神戸、シュウエケ邸、新港貿易会館、神港ビルヂング、高砂ビル、デザイン・クリエイティブセンター神戸  
（KIITO）、日本基督教団 神戸栄光教会、フィッシュ・ダンス（株式会社ポトマック本社）



<お問い合わせ先>

神戸モダン建築祭実行委員会事務局 MAIL: info@kobe-kenchikusai.jp

## パスポート販売の開始

パスポート公開建築を見学できるパスポートを販売します。このパスポートにより、建築の見学以外にも様々な特典を受けることができます。販売方法により2種類ありますが、受けられる特典は同じです。

1.販売開始日時 2023年9月14日(木)14時

2.券種・料金(税込)

パスポート 11月24日(金)~26日(日)の3日間有効		
一般	オンライン決済 <b>¥2,000</b> (税込)	セブン-イレブン店頭購入(マルチコピー機) <b>¥2,500</b> (税込)

チケット販売掲載ページ <https://www.kobe-kenchikusai.jp/ticket/>



## インバウンド対応の企画(準備中)

回復しつつあるインバウンド需要にも対応。日本を訪れる外国人にも神戸が誇るモダン建築を楽しんでもらえるよう、全国通訳案内士による英語でのガイドツアーを実施するほか、『日台レトロ建築案内』などの著書を通じて台湾建築の見どころを発信する2人組ユニット・老屋顔などのパネリストが登壇する「日台レトロモダン建築シンポジウム」を開催します。詳細は外国人向け専用サイトにて発表いたします。

<お問い合わせ先>

神戸モダン建築祭実行委員会事務局 MAIL: info@kobe-kenchikusai.jp